

Lib. ニュース



葛飾区立中央図書館 オープン直前号！！

VOL. 16

新中央図書館は6月末に建物の引渡しを受け、7月には、倉庫に預けた新刊資料、葛飾図書館から移管した図書、雑誌、CD・DVDなどを中央図書館に搬入しました。

その後、資料にICタグを貼り、現在は書架に並べた資料のデータ整備や並べなおしを行っている最中です。また、閉架書庫（なんと20万冊の収蔵能力があります）はレイアウトに添って図書・雑誌などの資料を並べたり、閉架シールの貼付作業などを行っています。9月には事務室の机や棚、事務用品なども葛飾図書館から運び入れました。現在、予約棚や自動返却仕分機、利用者用パソコンなどの最後の調整を行っています。

あたらしい図書館システムの研修も終了し、開館に向けて、最後の追い込みをかけているところです。



一足早く各コーナーや書架の写真をお見せします。

（裏面に館内案内があります）



中央図書館メインストリートから
新聞・雑誌コーナーをのぞむ

一足お先に 公開します



えほんの書架



ビジネス資料の書架
特集や新刊を並べます



歴史・地理の書架



大きい本・点訳本の書架



おはなしのへや
たくさんのおはなし会を企画
します。



ティーンズコーナーの
おしゃれなすと机



地域資料コーナー
葛飾区にゆかりの漫画家の作
品もありますよ



CDコーナー
いろんなジャンルの CD
が並んでいます



シンボルツリーのある
雑誌コーナー



政治・法律・経済の書架
暮らしに役立つ法律情報やパ
ンフレットもあります



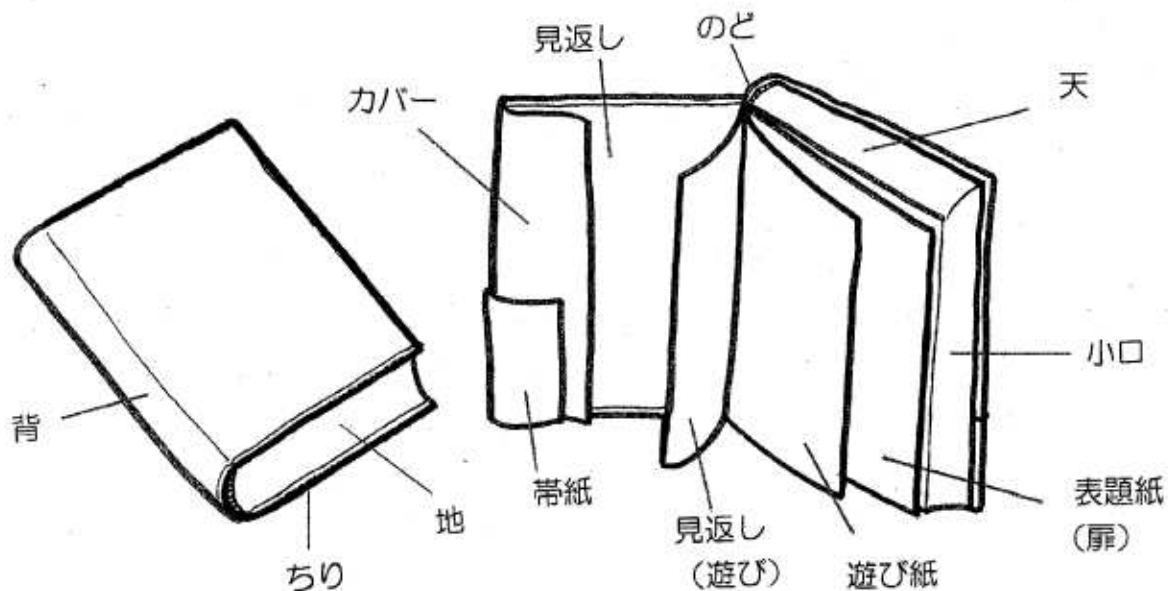
この他にもいろいろな書架や
コーナーがあります。乞うご期待！！

あなたも図書館通！（図書館用語編）

私たちがふだん何気なく手にとっている本ですが、書名や作者、カバーや装丁には目が向きますが、本の各部分の名称に興味のある方は少ないと思います。

図書館、出版社、製本関係者など、業界の人でなければ知っている人は少ないと思います。図書館職員は、いつも本に囲まれており、また、本の装備（ラベルを貼り付けたり、カバーをかけたりする）をするため、このような名称が身近になっています。

今回の“図書館通”では本の各部分の主な名称を取り上げました。本に関する雑学として知っておくと、図書館通としてお友達に自慢できるかもしれませんよ。



ちり 図書の中味より表紙が大きいとき、その余っている3～5ミリの部分のことをいう。「余郭」とも書く。

天（てん） 本の上の部分。下の部分は「地」という。葛飾区立図書館では天に「かつしかくりつとしょかん」と捺印しています。

帯紙（おびがみ） 図書の外箱や表紙に巻きつけてある帯状のもの。著者名、内容、宣伝などが印刷されている。「帯」「腰帯」「腰巻」ともいう。

表題紙 図書や雑誌などの本文の前にあり、その書物の標題が刷りこんである紙。書名以外に著者名、出版社、刊行年、発行者、出版地などが入っている。日本では奥付に書かれている場合が多い。

参考文献：「図書館用語辞典」図書館問題研究会編 角川書店 1982年刊
「図書館用語集」日本図書館協会編 日本図書館協会 1988年

Lib ニュース VOL.16 平成21年9月30日発行
問い合わせ先 〒125-0051 葛飾区金町6-2-1
ガイナ金町プライト3階
葛飾区立葛飾図書館整備担当係 電話 3607-9201